

ミャンマー・マンダレー地域における省エネ・再エネ導入促進による低炭素化推進事業

環境省 「平成29年度 低炭素社会実現のための都市間連携事業」 (2017年度)
株式会社日建設計シビル・株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

国際協力事業の実績
環境分野・水道分野
IGES-UNEP事業と連携
戦略策定に参画(専門家)

2014年8月 JICA草の根技術協力事業を活用して
マンダレー市長が北九州市を訪問
2017年1月 環境省都市間連携強化事業パイロット研修
にマンダレー市清掃局長を招聘
本市の環境施策の説明
「両市間の連携事業推進」について協議

都市間連携事業推進に向け
ニーズ把握のための
基礎調査を実施
(廃棄物、エネルギー、
上下水道、環境保全)

北九州市

都市間連携事業の強化

マンダレー市

エネルギー分野

大型ホテルや病院等を対象にチラー等の省エネ化や太陽光発電システムの導入、また、籾殻や家畜糞尿などの地域のバイオマスを活用した発電システム等を導入し、大幅な温室効果ガス排出量の削減を目指す。

項目	内容
活動 1 : 大規模施設を対象とした低炭素化の推進	大型病院への高効率型チラーの導入、 インバータ機能付き空調の導入、 太陽光パネル・太陽熱温水システムの設置を検討
活動 2 : 再生可能エネルギーを利用した 分散型エネルギーシステムの導入の推進	商業施設等への太陽光パネルの設置、 灌漑用水路へのマイクロ水力発電の導入を検討
活動 3 : 籾殻等の農業残渣の活用による低炭素化の推進	籾殻等の農業残渣を活用したバイオマス発電システムの導入検討
活動 4 : 家畜糞尿の活用による分散型エネルギーシステムの導入	牧場等における家畜糞尿を活用したバイオガス発電システムの導入検討

